

令和2年度事業計画書

公益財団法人熊本市美術文化振興財団

【財団の目的】

美術をはじめとした文化芸術に関する調査研究、教育普及、展覧会事業等を基礎とし、美術館等の活発な管理運営を推進することを通じて、教育や福祉の充実、産業の活性化、地域の再生など様々な分野において、文化芸術の持つ創造性を活用し、心豊かな市民生活を実現するとともに都市の活力と魅力を高める、熊本市のまちづくりに寄与することを目的とする。

【財団の目的を達成するための事業】

- (1) 美術館等における文化芸術の調査研究等事業
- (2) 美術館等における文化芸術活動の支援及び教育普及等事業
- (3) 美術館等における展覧会事業その他の文化芸術の振興事業
- (4) 前1号から3号の事業を行うための美術館等の管理運営
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

＝ 熊本市からの受託事業 熊本市現代美術館の指定管理業務 ＝

2019年4月1日-2023年3月31日（5年間）：非公募（2年目）

【熊本市現代美術館の設置目的】

市民が美術文化を享受するとともに、美術に関する知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与すること

【熊本市現代美術館の管理にあたっての基本理念】

指定管理者は、美術館の設置目的と熊本市文化芸術振興指針に基づき、管理にあたる。熊本市と指定管理者は、熊本市の文化施策の目指すものを共有し、指定管理者がその補完を行うことができるよう、連携・協力をする。

【基本理念に基づき、財団がめざす、熊本市現代美術館の方向性】

1. アートの力を見せる
2. アートへの愛情を育てる
3. アートで人をつなぐ
4. アートで地域に密着する

【美術館の管理に関する基本的業務】

(1) 来館者が快適に過ごせるサービスの実施及びサービス向上のための工夫 **〔共通〕**

- ① 基本的サービス
 - ・利用者の平等な利用の確保
- ② 来館者へのサービス向上及び館内ホスピタリティの充実
- ③ 安定した施設管理能力の確保
 - ・職員の資質向上（研修等）
- ④ 市との連絡調整、苦情対応 他

1. 利用者の平等な利用の確保

(1) 全ての来館者に等しく利用できる環境づくりのための方策

- ① ホームギャラリーの運営
 - ・ミュージック・ウェーブ（音楽関係：コンサート）
 - ・月曜ロードショー（映画関係）
 - ・詩や文学の朗読会（文学関係）
 - ・紙しばい、読みがたり 等
- ② キッズサロンの運営
- ③ アートスカイギャラリーの運営
- ④ その他の館内運営（来館者サービス等）
 - ・赤ちゃんからお年寄りまで気軽に立ち寄れる施設の充実

2. 公の施設の効用を最大限に発揮するためのサービス

(1) 美術館広報及びセールス計画の充実のための取り組み

- ① パンフレット等作成
 - ・美術館リーフレット、年間スケジュール等の作成及び頒布
- ② ホームページ作成、管理及び更新
 - ・ITCの活用（HP・Twitter・facebook等）
- ③ 幅広い広報手段の活用
 - ・ホームギャラリー・アートスカイギャラリー等における情報提供

(2) 地域振興・活性化に対する取り組みと、地域・学校・その他団体・施設等との連携の方策

- ① 中心商店街、熊本市各区等との連携
- ② 教育機関との連携
 - ・「ライファー生きることは、表現すること 展」：熊本高等専門学校
 - ・「谷川俊太郎 展」：熊本市内小学校（国語部会）
- ③ 市内外、県外の文化施設との連携

(3) サービス向上と利用促進

- ① 事業内容等に関するアンケートを常設し、月毎に集計、分析を行う。

- ② 各種イベントにおいても、事業内容等に関するアンケートを実施し、次回の事業の参考にして、美術館の利用促進を図る。

3. 市民の声が反映される管理

- (1) 利用者ニーズの把握に対する取り組みとその反映の方策
- ・館内アンケートを常設し、美術館や事業に対する来館者の意見を分析する。
 - ・電話やメールでの意見・提案・問い合わせ等について、迅速・真摯に対応する。
- (2) 美術館の使用許可、取消、停止命令に関する業務 [収益・公2]
- ① アートロフト、会議研修室 [収益]
- ② 美術品特別利用の使用許可に関する業務一般 [公2] (2) 公表方法3
- (3) 美術館の施設維持管理に関する業務 [共通]
- ① 美術館施設維持管理業務
- ・設備運転管理業務
 - ・有人警備業務
 - ・清掃業務
 - ・AV設備保守点検業務
 - ・防火設備定期検査業務
 - ・セキュリティ設備・監視カメラ保守点検業務
 - ・調光設備保守点検業務
 - ・放送音響設備保守管理業務
 - ・美術情報システム運用保守管理業務
 - ・ホームページ維持管理業務
 - ・図書装備業務
 - ・施設賠償責任保険・ガラス保険業務
 - ・アートロフト手動式昇降ステージ保守点検業務
 - ・アートロフトプロジェクタ設備賃貸借業務
 - ・電話設備賃貸借業務
 - ・AED（自動体外式除細動器）保守点検業務
- ② 美術館施設修繕等業務

企画事業 1 美術品及び美術に関する資料の収集、保管、展示及び利用に関する業務 [公2]

ア 事業内容 1, 2, 3, 4、ア 公表方法 1, 2, 3、イ

- (1) 美術品の収集に関する業務 (ア 事業内容 1, 2)
 - ① 調査及び報告
 - ② 委員会の運営支援
- (2) 美術品等の保管に関する業務 (ア 公表方法 2, 3 イ)
- (3) 美術品等の展示に関する業務 (詳細は【1】 - 【5】) (ア 公表方法 1 [公1 (2) ア])
- (4) 収蔵品の利用に関する業務 (ア 事業内容 4 イ)
 - ① 他館への貸出
 - ② 情報公開

展覧会の企画・開催等に関する業務 [公1]

【1】メインギャラリーでの展覧会開催 アー 1、エ

《目標入場者数：142,500人》

①	ライフ 生きることは、表現すること	
	4月11日(土)～6月14日(日)	<目標入場者数：13,500人>
<p>超高齢化社会を迎える現代の日本において、誰もがいずれ身体・精神的な弱者になり得る。自分や身近な人が「健常」という名の「多数派」ではなくなった時、その事実をどう受け止め、生きていくのか。本展では、アール・ブリュットや現代アートから、弱いロボット、自撮りおばあちゃんまで、障がいや加齢などから生まれる困難さと向き合いながら、日々制作を続ける11組の表現を紹介する。</p>		
②	谷川俊太郎 展	
	6月27日(土)～9月6日(日)	<目標入場者数：29,000人>
<p>88歳の詩人・谷川俊太郎の個展。詩をはじめとする谷川の幅広い創作活動を振り返るとともに、それにまつわる資料や交友関係、親しんできた音楽、コレクション等を紹介することで創作の背景に光を当てる。また本展のために書き下ろされる新作の詩や、音楽や映像作家とのコラボレーション作品を通じて、「詩」を観る、聴く、体感するなど、美術館ならではの形で現在進行形の谷川の活動を提示する。</p>		
③	第32回熊本市民美術展 熊本アートパレード	
	9月26日(土)～11月1日(日)	<目標入場者数：10,000人>

	<p>15歳以上（中学生は除く）の熊本市在住・在勤・在学者・熊本市出身者なら誰でも無審査で出品することができる公募の展覧会。今回は会期を1ヶ月間と延長し、審査員（明和電機）の作品展も同時開催。作家とともに新たな公募展の形を模索する。</p>	
④	<p>ムーミン展 THE ART AND THE STORY</p>	
	<p>11月14日（土）～1月11日（月）</p>	<p><目標入場者数：55,000人></p>
	<p>フィンランドを代表する芸術家、トーベ・ヤンソン（1914年～2001年）が生み出した「ムーミン」シリーズは、小説、絵本、新聞連載コミック、アニメーションなど、その誕生から75年を経た今もさまざまなかたちで多くの世代に親しまれている。その多彩な表現とフィンランドの自然と歴史を背景にした奥深い物語の魅力、現地のムーミン美術館のアーカイブから選りすぐった約500点の展示品とともに紹介する。</p>	
⑤	<p>田中達也 ミニチュア・ライフ展</p>	
	<p>1月29日（金）～3月14日（日）</p>	<p><目標入場者数：35,000人></p>
	<p>テレビドラマのオープニングソングのバック映像に使われてたちまち人気を博した熊本出身のミニチュア・見立て写真家、田中達也の個展。本展では、田中達也の新作と撮影用のミニチュア立体作品を展示、同時に和歌、枯山水、落語からおせち料理に至るまで、日本に古くから存在する「見立て」の文化と田中作品の発想の関係性についても言及する。</p>	

【2】井手宣通記念ギャラリーでの展覧会開催 **ア-2**

- ① 井手宣通の作品を中心に収蔵作品を紹介・展示
 ・熊本市現代美術館所蔵作品より

被災作品 公開コンディションチェック展〔第4回〕 他

【3】ギャラリーⅢでの展覧会開催 **ア-2**

- ① 熊本または九州ゆかりのアーティストや文化にスポットを当て、応援する展覧会
 ・高浜寛のマンガに登場するアイテムで読み解く 19世紀末（バル・エポック）—『ニユクスの角灯』、『蝶のみちゆき』…展（熊本出身・在住作家）
 ・川野美華 展“Nighthawks”（大分出身・在住作家） 他

【4】エントランス・階段ギャラリー等への作品展示 **ア-3**

- ① 収蔵作品の市民への公開、子どもの作品展示
 ② まちづくり関連展示

【5】次年度以降開催予定企画展の企画・準備 **ア-1,2,3**

企画事業2 美術に関する調査及び研究に関する業務 [公2]ア 事業内容1,2,3,4

- (1) 郷土の特色ある美術や文化等の調査・研究
 - ① 熊本及び九州に根付く芸術文化やアーティストに関する調査・研究
 - ② 生人形など収蔵作品に関する調査・研究
- (2) 現代美術を中心とした多彩な芸術分野の調査・研究
- (3) 美術館運営や人材育成等、文化施策に資する調査・研究
 - ① アートマネジメントに関する調査・研究
 - ② ミュージアム I P M等に関する調査・研究
 - ③ 災害時における文化施設の役割に関する調査・研究
 - ④ 外部審議会運営に関する調査・研究
- (4) その他市民文化の発展に寄与する調査・研究
 - ① 市民参加型文化・芸術プロジェクトに関する調査・研究
 - ② アートを活用したまちづくりに関する調査・研究
- (5) 上記各号の調査・研究成果の発信
 - ① 調査・研究によって蓄積された学術的成果については、美術館活動（展覧会・講演・論文寄稿・出版・ホームページ等）を通じて広く国内外に発信

企画事業3 美術に関する情報の収集及び提供に関する業務

- (1) 国内外の芸術活動に関する情報等の収集・提供 [公2]ア 公表方法1, 2, 3
- (2) 地元の芸術活動に関する情報等の収集・提供 [公2]ア 公表方法1, 2, 3
- (3) 地元で開催される芸術活動に関する後援等 [公3]イ-3

企画事業4 美術等の普及並びに市民の創作活動等の指導及び助言に関する業務 [公3]ア

- (1) 展覧会に関連する教育普及及び活動の実施
 - ① ギャラリーツアー
 - ② プレママ&ファミリーツアー
 - ③ 探検ツアー
 - ④ 鑑賞補助
- (2) 芸術文化に関わる体験や創作活動の場の提供
 - ① ワークショップ等の開催
- (3) 文化活動への支援・協力
 - ① 中心商店街等との連携
 - ・ストリートアートプレックスの協働開催
 - ・上通アートプロジェクト

- ② PTA 学級活動や子ども会活動へのプログラム支援
- (4) 人材の育成
- ① 地元ゆかりのアーティストの支援
 - ② 音楽、ダンス等の表現者の発表の機会の提供
 - ③ 美術館における実習や研修（学芸員実習等）
- (5) ボランティア活動の支援
- ① 図書チェック、布絵本、発送、資料整理、イベント補助、ピアノ演奏等
- (6) 子どもや学生等を対象とした企画
- ① アートバス事業
 - ・市内小学校の1学級～1学年程度：年間5～6校程度
 - ・高齢者福祉施設（年1回程度）
 - ② アートプログラム（熊本市内の小中学校等へアーティストを派遣）：年間4校程度
 - ③ 1年生ようこそカードの発行（新1年生全員に美術館の使い方を書いたパンフレットを配布。持ってくると大人一人が無料となる。）
 - ④ 子育てひろばワークショップ
 - ⑤ 美術を学ぶ中高・専門・大学生との交流

企画事業5 図録・案内書等の作成及び頒布に関する業務 [公1] アー1,2

- (1) 収蔵品等に関する案内書、解説書等の作成・頒布
 - ① 恒久展示のアートワークに、解説パネルを設置
 - ② 熊本出身の画家、井手宣通についての紹介冊子を頒布
 - ③ 井手宣通記念ギャラリーで開催するコレクション展示に際し、収蔵品と収蔵作家について案内・解説シートを作成・頒布
- (2) 展覧会等の目録を作成
 - ① 展覧会毎に出品作品の一覧を作成
- (3) 展覧会等の図録の作成及び頒布
- (4) 年報、調査研究の報告書等の作成及び頒布 [公2 公3]
 - ① 美術館フリーペーパー「アートキッスレター」（年5回程度発行） [公3] イー2
 - ② 報告書「アート・ガマダス」 [公2] ア 公表方法1
 - ・ホームページにて随時掲載
 - ③ 美術館での催し物や活動の内容を、館のホームページにて公表

企画事業6 講演会、講習会、講座、研究会等に関する業務 [公1] ウ

- (1) 展覧会等に関する講演会等の開催
 - ① レクチャー・カレッジ
 - ・展覧会担当学芸員等が、展覧会の見どころやエピソード等について語る講演会

講師：担当学芸員（ライフ 生きることは、表現すること展）

日時：5月9日（土） 他

(2) 展覧会記念講演会

「ライフー生きることは、表現すること」関連イベント

- ・「家族からみたアーティストたち」

日時：5月2日（土）

- ・「受け身の人」

講師：白石正明（医学書院「シリーズケアをひらく」編集者）

日時：5月24日（日） 他

(3) アーティスト・トーク

展覧会の出品アーティスト自らが展覧会や作品について語るトークショー

「ライフー生きることは、表現すること」

- ・講演者：片山真理（出品作家）

日時：4月12日（日）

- ・講演者：西本喜美子（出品作家）、西本和民（遊美塾主宰）

日時：5月5日（日） 他

(4) 文化財保存修復学会

・公式行事のエクスカージョン「バスで楽ちん！市内美術館めぐり ～被災文化財を守る・公開する／伝統から近・現代まで～(定員 20名)」の訪問先として、展覧会 被災作品 公開コンディションチェック展解説ツアーを実施

講師：当館学芸員

日時：6月19日(金)

企画事業7 その他、美術館の設置目的を達成するために必要な事業（自主事業）

1 アウトリーチ事業

- (1) 小中学校に訪問し質の高い実演芸術に触れる機会を提供：年間 10 校程度

2 その他、各種団体との連携

- (1) 市内外の美術、文学、まちづくり等の団体と多様な文化を切り口にして協力、連携体制をとることで市民に対して質の高いサービスを提供

※設置目的を達成するためのモニタリングの方策

- (1) 県内外の専門家と、より良い美術館事業について審議する
- (2) 熊本市における、市民とともにある「現代美術館」の在り方を検証する

※熊本市の文化施策への連携、協力のための方策

- (1) 熊本市各課と交流を密にすることで情報を共有する
- (2) 財団が持っているネットワーク・経験を活かして「人」と「街」が元気になるイベ

ントなどを実施する

- (3) 上質な生活都市熊本の実現に近づけるため、教育・福祉・産業など様々な分野と連携した取組を進めることにより、市民が抱えている問題を文化的な要素で解決する

① 第4回アジア・太平洋水サミットへの協力

水サミットの熊本開催とその意義を市民に明解にひろく知らせ、アート活動を通じて、その記憶を市民と共有する場を演出。

・ひびのこづえ（当館所蔵作家、コスチューム・アーティスト）プロデュースのダンスパフォーマンスの開催

・コーダヨーコ（熊本在住イラストレーター）による市民参加型壁画「水とあそぶどうぶつたち（仮）」作成ワークショップの実施